

令和7年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第3回市民啓発部会を開催しました

○令和8年1月23日（金）に第3回市民啓発部会を開催しました。参加者は、部会メンバー6人、県職員2人〔傍聴〕、事務局3人の11人でした。

○今回の議題

- (1) 令和7年度第1回上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会の報告
- (2) 急変時対応部会との合同研修会の振り返り
- (3) 第3期（令和5～7年）の活動の振り返り
- (4) 上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会取組発表会について

○部会での検討事項等

- (1) 令和7年度第1回上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会の報告

※令和7年11月6日に開催された協議会の内容について共有

- (2) 市民啓発部会との合同研修会の振り返り

※令和7年12月10日に開催された当部会と急変時対応部会合同研修会『医療と介護の連携に関する研修会』について、アンケート結果やグループワークで出た意見等を共有

（地域包括支援センター）

- ・「しっかり決まった形でやるだけがACPではないんだね」「ぼろっと出るのが本音、再確認していかないとね」等の意見が出ていた。

（薬剤師）

- ・参加した人は一部の人であるため、今回のような研修会を繰り返しやっていくことが大切だと思う。

（特養）

- ・救急医療・災害時支援情報（救急医療情報）キットを初めて聞いたという参加者は、訪問時に見てみたいと言っていた。

（栄養士）

- ・研修会を通じ、多職種で参集して情報交換ができたことは有意義だった。

（ケアマネジャー）

- ・研修会を通して、ACPをととても身近に感じられたと思う。

（医師）

- ・忙しい中、たくさんの人が参加していたことが分かった。参加できず、残念だった。

- (3) 第3期（令和5～7年）の活動の振り返り（地域包括支援センター・栄養士）

- ・法人内研修でACPをテーマにした研修を実施した。さらに深めていこうということで、再度取り上げる予定である。

（薬剤師）

- ・広い職種にACPについて伝えることができてよかったと思う。受け皿が広くなり、次の期に進みやすくなったと思う。

（特養）

- ・部会への参加を通じ、職種や働く環境によって考え方に違いがあることが分かった。

（ケアマネジャー）

- ・サービス担当者会議のように思っている人も多いが、それだけがACPの形ではなく、日々の実践もACPであることへの理解が広まってきていると感じる。

（医師）

- ・部会で作成した啓発リーフレットが非常によく、受け取った家族や患者の安心に繋がりを、話し合うきっかけづくりになっている。

- (4) 取組発表会について

令和8年2月14日に開催する在宅医療・介護連携推進協議会取組発表会において、当部会から参加者へ伝えるべきキーワード等について意見交換を行った。